

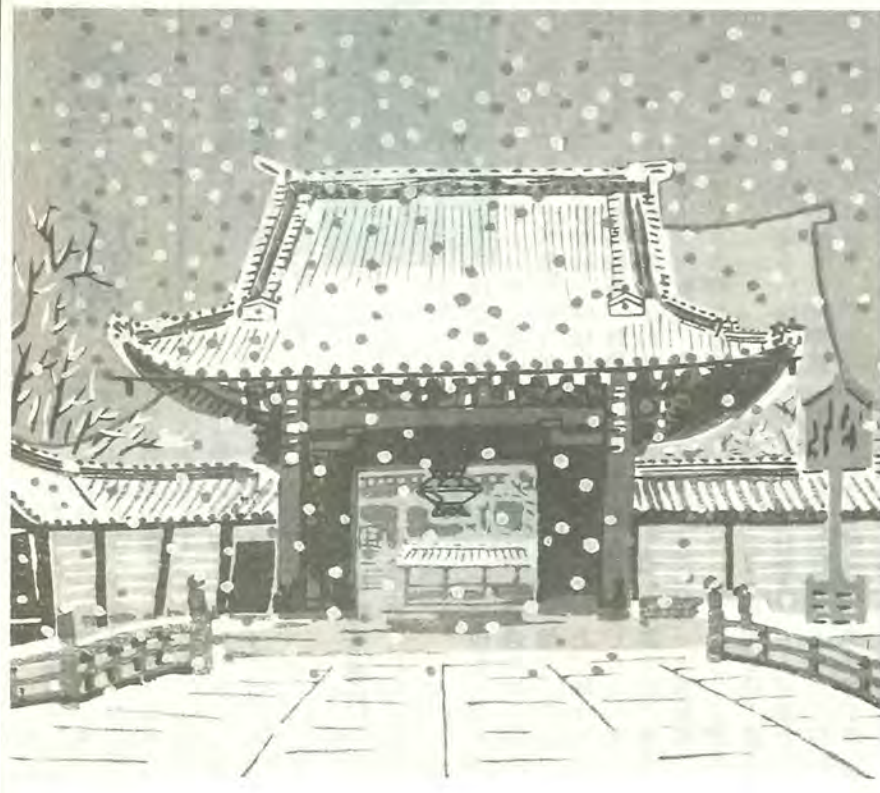
# 小樽別院だより

## 新しい年を迎えて

輪番教重文雄

新年おめでとうございます。皆さまには、阿弥陀如来の限りない光明無量、寿命無量につつまれて、

心新たに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も皆さまともにお念仏生活に邁進させていただきます。



「大無量寿経」のお言葉に、仏の教の及ぶところ、国も郡も町も村も、その化益(やく)をこうむらぬところはない。その為には世の中は和やかに治まり、日月は清らかに照り、風雨は、ほどよく時を得、もろもろの災などは、さらに起らず、国は富み、民は安らかに、軍隊も兵器もまったく用がなくなる。また人びとは徳をあげ、慈しみを起し、つとめて礼儀を重んじ、たがいに譲りあい……の言葉が迫ってきます。世の中が乱れ世界の平和が遠のく思いを深くします。今日、いよいよ「仏法広まれば」と願わずにはおられません。

いま一つは、蓮如上人の「御一代記聞書」の第一条に「勸修寺村の道徳、明応二年正月一日に御前へまいりたるに、蓮如上人おうせられ候、道徳はいくつになるぞ、道徳念仏まうさるべし……」のお言葉です。

今年の正月もこのお言葉をいただき「教重よ、いくつになる、お念仏申さるべし」と、私たちお念仏にご縁のある者にとつては、年齢が加わ

つたというだけではめでたくもなく、尊くありません。ともすれば、世俗のことに引ずり廻され、肝じんの心を見抜いて、厳しく誠められたのが元旦に話された法話といたたくことです。形だけの挨拶などよりも、まず、念仏の心、念仏申すことの大切さ、信心決定こそが大切であると申された上人の開法、伝道についての厳しいお心がうかがわれ、心を新たにさせていただくことです。別院では、皆さまのご協力により「総参拜の実施」「百日朝参り」「日曜仏教講座」等を開催し、昨年は、「二百日朝参り」「人生講座」「各説教所の朝参り」「新納骨堂増設」「本山団参」「二百日参拜後のアフタケア」として「お晨朝講」の結成と発足、いきいきとした寺づくりに邁進してまいりました。とくに毎朝のおつとめには、寒さの増す雪の中を暗いうちから三十数名の方が参詣を続けておられますことは有難く感謝のほかございません。

新年を迎え、本年もより一層の活動を展開してまいります。

それには、別院とご門徒の絆を強化してまいります。とくに、幼少年、婦人青壮年、老年層の年代層にふさわしい対策をほどこし法縁を深めていくことと存じます。

なお、別院、説教所での行事についても一人でも多くの参加がいただけるような魅力ある企画と活動展開を計画いたしております。

漸次「別院だより」を始めご案内を申し上げてまいりますので積極的なご協力をお願い申し上げます。



合掌

謹賀新年	輪番 代表役員 教重 文雄	責任役員 総代 竹田 清治	総代 高山 隆行	総代 長谷川 才一	総代 毛利 悌雄	総代 高橋 米蔵	総代 渡辺 徳次郎	顧問 辻井 豊作
------	---------------------	---------------------	-------------	--------------	-------------	-------------	--------------	-------------

発行所  
本願寺小樽別院  
小樽市若松1丁目4番17号  
〒047 TEL.0134-22-0744  
編集・発行人  
教重文雄

“小樽に念仏の友垣の輪をひろめよう”



# 読者の広場

昭和五十七年度

総代研修会に出席して

小樽別院総代 長谷川才一



十一月二十一日の二日間の日程で本願寺札幌別院教化センターに於て北海道全道各寺院より六十五名のお方が出席されました。当日午後一時総代研修会開会式、札幌別院輪番、教務所長竹中徳成師のごあいさつがあり、一時三十分、相愛女子大学教授、中西智海先生の『親鸞聖人の根本精神について』

仏教とは、宗教とは、或るいは人間とは、人生とは、究極的に生死貫通の次元の解決である。聞法の道理、真実の利、めざめて生きる、浄土は真実の世界、人間に生れさせて戴いたことをもう一度よく見きわめること。めざめなき人生は流転だ、めざめさせてもらってお念仏、往生浄土の道はそのままである。他力とは仏力(横)如来本願力なり、念仏だけが自我の音だ、約四時間にわたってご講義を賜り、三の質問をお受けになりました。午後六時より出席者全員で懇親会があり当日は札幌別院本堂の別室にて合宿、二十一日早朝おあさじを本堂にて、おつとめ参拝

九時『お仏前作法について』  
教務所勤式指導員 小沢真了師  
仏台は心の鏡だ

十時『親と子の朝』の映画を別室

十一時『総代の役割について』札幌別院輪番教務所長竹中徳成師

此の度の研修会に出席させて戴きました事はまことに意義深いものがあり我が身の幸なことを深く感謝いたしております。毎年この様な研修会が定期に開催される事に成って居りますので一人でも多く参加される事が望ましいと思っております。

## 聖跡・西本願寺を参拝して

別院参与・仏僧役員 見楚谷光子



この度は、本山参拝の御縁に遇わせて頂き有難うございました。機中より浅間連山が見え始めましたが、遙か遠くに一際高く美しい富士山の雄姿が見え、さすがに日本一と感動致しましたが、京都に着きまして夕闇の中で御本山の大きな屋根が恰も富士山を思わせる荘厳さに一入感激致しました。又、お晨朝のお参りに初めて踏締めます敷板の、黒く艶やかに光り、幾百年の遠い昔より幾百万人、い、え、それよりもっとく多くの方々が宗祖親鸞聖人様の御教えをお慕いしてお参りした事かと胸の高鳴りを覚えました。

広い御影堂に御門主様の説経、それに続きます幾十人ものお坊さん。何時か知ら御本堂一杯になりました参拝の方々のお経が一つに流れ、お参りさせて頂きました喜びを、深く深く心に刻み感謝致しております。又、日野誕生院を始め、親鸞様の聖跡を御輪番様の大変詳しい御説明によつて御案内頂き特に角坊別院では、本道からお出でになりました桜井御輪番様が、晩年の親鸞様の御苦勞をしみじみとお聞かせ下さいまして、只、勿体なく、有難く感謝の涙こぼる、許りでした。今一度、大きな笠

## 京都・本山にお詣りして

別院仏僧役員 坪川和代



春から楽しみにしていた聖跡本山古都巡りに参加して亡夫の分骨をすましてまいりました。秋の京洛く紅葉の山を背景に親鸞聖人ゆかりの角坊別院はじめ由緒ある本山、各別院の参拝浄々しく心のしまる思いで、又西大谷本廟の重厚な建築美に圧倒され本当に良い思い出となりました。ご輪番様西先生、お陰様で色々とお世話になりました。有難うございます。合掌

## 本山・旧跡を参拝して

別院仏僧役員 安田芳枝



私は富山で生まれ、三才で名寄に来て、二十才の時、小樽に引越し、現在に至つて居ります。

祖母、父母は浄土真宗の、おみりを喜ばせていたゞき、毎日の様に別院に、お参りしておりました。私もよく連れられ、主人共々聞法させて、いたゞいたものです。此の度の、本山参拝と、親鸞聖人の御旧跡巡り、京都の案内等々、我が御輪番様のガイドにて、其の弁舌、さわやかな中に、浄土真宗の、おみのりが、ひしひしと私達に伝わって参りました。

亡き主人の納骨も、西先生のお陰でさせて頂き、こんな有難たい旅行は、二度とない事でしょう。合掌

## 別院門徒 三井吟子



何か一言感想と申され誠に僭越ですが、初めて見る山並、深谷、山ふところ

に抱かれた史蹟、幾百年生き抜く大木、どれを見ても只々感嘆するばかりでしたが、聖人ご臨終の誠に尊い善法院には感動させられました。聖人のご苦勞を偲び、感謝の日暮しを送らせて頂きます。

まず私の印象に残った事を下手乍ら歌日記にまとめて見ましたので御笑覧頂ければ幸いと存じます。合掌  
お晨朝に参る人波の中  
阿弥陀堂御門主様のおごそかな讃仏偈ひ、き夢かとまどう御影堂のつとまる正信偈ありがたく共にとなへる身のよろこびを聖人の苦難の行をつまれたる史蹟を巡り今の幸せ  
京の町御輪番様のガイドやくくわしいほどにため息のもれ

## 頑張っています

別院承任 小松正樹



昭和の始め新潟から祖父が父を連れて北海道開教の為来道。数々の苦難の後樺太に居住。敗戦の為函館に引揚げ、父が祖父の願いのもとに瑞教寺を再興。そんな気風の中で生まれ、門信徒の皆様の御陰で学業終了。昭和五十五年八月十日別院職員として着任以来、はや二年数ヶ月が経ちました。若輩ながらも、皆様方の熱心な姿勢を励みとして現在アソカ(若婦人)会・仏教青年会(昼、高校生対象・夜、勤労者中心)を担当しております。アソカ会・仏青とも後継会員育成が

課題であり、一人でも多くの方が入会して下さる様にお願ひ申します。今後共、皆様のお力を得、また母方の亡祖母の「立派な僧侶になるように」と云う言葉を肝に銘じて、聖人のみ跡を歩む覚悟であります。

## 小樽幼稚園教諭 瓜生容子



私が幼稚園の行事の中で、一番心に残るのは、やはりおゆうぎ会です。子供達は二ヶ月も前から練習を始め、先生達は毎日しかつたり、ほめたり、精神的にも肉体的にも、ぼろぼろになってしまふほど疲れてしまいます。でも当日子供達の得意な姿を舞台の袖で見ていると、つい目頭が熱くなって、言葉が止まってしまふ、今までの苦勞が一瞬にふつとんでしまふ。そんな時こそ、幼稚園に勤めています。そんなに良かったとつくづく思います。それに、いくらしかつても、ついて来てくれた子供達をこんなにかわいいなあ、と思う時もこの時です。

## 新職員紹介

若竹保育所保母 中田奈津子



九月一日付で若竹保育所に入所した。明るく元気はつらつな保母さんである。潮見台育ちで、琴、華道の心得と水泳も達者との現代子。

過日催されたお遊戯会も、青柳主任のもと頑張っていた。高校は双葉出身、拝む姿勢を大切に、未来ある幼児の育成に精進努力を期待している。





元旦や、  
冥土の旅の一里塚  
めでたくもあり  
めでたくもなければ

# 朝まいり お晨朝講発足

12月1日  
二百日  
参拝終了を  
生かして

別院では、二百日参拝終了に伴ない、一歩前進したかたちとして、朝まいりをより発展させていこうと、去る十二月一日に「お晨朝講」の結成発足をみた。人数は三十数名と少いが、厳冬の参りにくい条件の中で一人でも多くご参詣いただきたく念仏の友垣の輪をひろめていくことを願っている。

代表世話人、風間毅、佐々木アキさんの二名とし、院内職員から、生田龍慈を担当として皆さんのお世話をしていくこととなった。

- 入会者氏名
- 佃 真信、佃 勝治、牧田定雄
  - 大久保繁、有田フミ、辻井富士男
  - 風間 毅、野坂房市、田中修次
  - 嶋田アイ子、有田フミ、八ツ井ヒサ
  - 木之内節代、佐野スエ、木戸フサ
  - 棧敷美恵子、辻 初江、加藤福恵
  - 倉田アヤ子、中村トキ、東田アヤ
  - 佐々木アキ、白浜千代、安田芳枝
  - 宮本みい、長谷川ユキ、見楚谷スキエ
  - 見楚谷光子。

(十二月一日現在)



## 明日を開く

## 日曜佛教講座

一月は十六日、二十三日

新しい歳を迎えて、日曜仏教講座は一月十六日(日)、新春初の講座を開催する。厳寒に入って出席しにくい時節ではあるが、充実した精神生活をおくるためにも是非出席を願っている。講義内容は、仏教の根本義から漸く、大乘仏教の六波羅密へと移ってきた。特色としては、ただの講義解説に終ることなく、仏のお心をどう理解し、自己の人生にどうかかわっていくかに重点をおいて話しをすすめている。

## ご本山ご正忌報恩講 参拝ご案内

一月九日〜十六日まで

全国寺院の報恩講も終了し、新しい年を迎えると、ご本山のご正忌報恩講をお迎えする。ご本山はいっお参りさせていただいても、やすらぎとおちつきを感じさせていただく有難い聖地である。そのうえ、底びえのする厳冬のご正忌にお参りをしてこそ、聖人九十年のご苦勞が、ひしひしと身にしみる。聖人のご苦勞なかりせば、眞実のみ法に遇うことな、ただいたずらに過ぎゆく人生であつたであらう。

## 聖蹟めぐり 募集始まる!! 信濃路〜北関東

昨年は京都ご本山参りと市内聖跡巡拝を実施した。五十二名の参加者が一人の事故、病氣もなく全員帰宅したことはお蔭さまでした。本年は、聖人のみ跡を偲ぶ、信濃路、とくに善光寺並びに聖人ゆかりの聖蹟をめぐり志賀高原〜白根山、草津を通つて塩原温泉、北関東ご旧跡をたずね太平洋に面した大洗海岸に出て、東京の築地本願寺を参拝して帰る予定です。定員五十名、受付先着順で申込金壹万円、団費壹拾万円見当です。追つて、詳細はプリントにて、案内致します。早目に申込み下さい。時期は十月下旬を予定。尚、昨年同様輪番がガイドいたします。

### ●仏壮コーナー

○別院仏教壮年会では過日組織の再強化をめざして、新規約の制定と事業計画の策定、新役員の構成を確立して再発足した。その活動の一環として、宗祖聖人報恩講を去る十一月二十八日午後四時から、輪番導師のもと、会員その他約五十名の参加をえて厳肅裡にとめた。初めての催であり、一部仏婦の加勢もえながらなごやかに行われた。関係者へ会長(小紙文隆)から感謝のメッセージがとどいている。

○例会、毎月六日夕が例会である。仕事の都合もあろうが月一回の集い、できるだけ都合して例会に出席を願っている。

○役員で別院へたえず奉仕をしてい、風間毅氏の夫人秀子さんが逝去された。長い間病床にありご苦勞のほどがしのばれる。つつしんでお悔み申しあげます。 合掌

### ●仏婦コーナー

○新年会ご案内  
日時、一月二十七日、午前十一時  
場所、別院対面所  
会費、壹千貳百円也

○会費納入お願い  
未だ未納の方が多数ございます。会活動のため、是非納入下さい。尚、地区の役員が、別院へお届け願います。

### ●仏青コーナー

○仏青活動の一環として過日行われ別院報恩講にお手伝をしたり、参詣をして、会員相互の自覚を深めた。  
○来る二月上旬には、教区仏青の研修会が予定されている。何人参加できるか検討中。  
○元旦には元氣よく、別院参拝で一年の計を.....

土木建築請負  
設計・施工・監理

### 株式会社

カネタ 田中組

代表取締役 田中修次

小樽市稲穂五丁目十番十八号  
TEL 三三一七五七五

## 謹賀新年

### 緑説教所

主任 西 正美  
無量講一同  
代表 稲 健治

### 若竹説教所

主任 村上 隆昌  
代表 野村 寛吾

### 奥沢説教所

主任 斉藤 義隆  
樹心会一同代表 大久保繁  
唯信講一同代表 坪川和代

### 新光説教所

主任 高柳 広章  
法友会一同 代表 牧田佐太郎

### 別院参与

宮本土建会社社長  
宮本 裕三

### 別院参与

北川食品株式会社社長  
北川 紋二

### 別院参与

若竹彰心会顧問  
山本 卯一郎



# 別院報恩講修行了

昭和五十七年度

多数の参詣者で賑う

昭和五十七年度の小樽別院宗祖親鸞聖人報恩講は十月十二日初建夜法要から十六日満日中法要までの五日間天候にも恵れ、遠近各地から昨年を超す多数の門信徒が参詣し、毎座毎座、崇敬寺院で法中の出勤をいただし、輪番導師のもとに厳しゆくりに営まれた。布教使に本願寺輔教、岩橋成信師によるねんごろな、宗祖聖人のご苦労と、真実のみ教を布教され一同深銘のうちにご満座を迎えた。早くから準備をととのえ、一人でも多くの参詣をとの努力のもと、少しづつであるが平素ご縁の薄い方々が参っておられたのは有難いことである。

おさらいは、報恩講は私の人生の一ヶ年の歩みの総決算である。明年の報恩講を目ざして、平素から着実に、聞法即伝道に精進努力していくことを誓った。



## 本山参拝と聖蹟巡拝 —好天恵れ、全員無事帰る—

別院報恩講が終了した十月二十日から二十三日までの三泊四日の日程で別院ご門徒五十二名が本山並びに京都の聖人ゆかりのご旧跡を巡拝した。

二十日の八時三十分別院本堂に出発のご挨拶をして、バスにて一路千歳空港へ。この日は強い風雨に見舞われ案じていたが無事、大阪空港に着き宿舎の門徒会館に着き、一同風呂に入り、夕食をして床に着いた。翌朝、本山のお昼朝に参り、「おかみそり」の方は残って受式された。十時、本山側を代表して、松本総務(札幌出身)より歓迎のご挨拶があり、続いて書院、飛雲閣、百華苑、金華殿等を拝見して、午後は、自由行動で楽しんだ。三日目は、日野誕生院から山科別院、青蓮院、西大谷本廟、北山別院、角の坊別院をお参りした。

四日目は、清水寺から比叡山をまわり琵琶湖から大阪空港へ、無事千歳に着き、午後七時五十分別院に帰着した。お互に目のあたり聖なる地にふれ、感銘を深くし、参加相互の人間関係も深めたことは意義があったと思う。

## ご門徒へ お知らせ

- 一、修正会(元旦会)  
午前六時三十分より  
おつとめ、法話、献盃の儀  
—記念品、贈呈—
- 二、新年は月忌は一月六日から始めます。
- 三、毎月一日と十六日は別院への総参拝日です。
- 四、維持費、未納者は是非、別院へ納入下さい。
- 五、旧納骨堂管理冥加未納者は納入願います。

## 新納骨堂

札樽随一の荘厳豊かな  
残り少くなりました  
受付中です

## 永代経懇志芳名

- (九月・十二月)
- |        |        |
|--------|--------|
| 星野 津戸務 | 大貫 豊   |
| 本田 壮稜  | 松羅 利一郎 |
| 池田 ハツ  | 品川 照   |
| 山下 竜造  | 小元 石   |
| 吉田 えい  | 川脇 ふさ  |
| 金吉 幹人  | 青海 陽一  |
| 萬吉 美智子 | 浦口 留蔵  |
| 風間 毅   |        |
- 右御礼申し上げます。  
以上

## 謹賀新年

### 小樽幼稚園

園長 教重 文雄  
主任 本間美智子  
他 教職員一同

### 若竹保育所

所長 高越 静真  
主任 青柳 順子  
他 職員一同

### 新光保育園

園長 高柳 広章  
主任 大山 淳子  
他 職員一同

### 後記

●新しい年を迎えた。「オメデトウゴザイマス」一茶の句に「おめでたさも中ぐらいいなりおらが春」という句がある。一夜あければ昨日の鬼が礼にくる元旦である。また「ともかくもあなたまかせの年の暮」とあるから、今日またおかげさまで生きてきたということをしみじみかみしめたい。

●昨年も暗い問題の多発した年であった。政治に経済に、社会に、なおまた、にせものアップの続いた年でもあった。贗さつを始め……。背後にどろどろしたものをかかえておればこそ、縁にふれ、現れる、煩惱具足の凡夫の私を離れてもありえない。

●新年度から紙面も少し変え、「聖典講座」「読者のコーナー」を設け、充実を計っていききたい。ご支援下さい。

B.